

# 2016年高校野球 夏の大会へ向けての母校 県尼の野球

記録・選評 福良 健三

## 1. 3月27日 県尼 春季高校野球 阪神地区大会 残念ながら二回戦で敗退

センバツでは、特別推薦校の長田高校（県尼が1対3で敗北）はセンバツの初戦に敗退しましたが大健闘でしたね。昨年の優勝校の敦賀気比に快勝した海星高校と互角の試合展開は立派でした。（2対3）  
県尼の春季高校野球 地区大会の結果の報告です。 県尼ナインの奮闘及ばず、2回戦で敗退。残念ながら、春季県大会へは出場できませんでした。

◆ 1回戦 3.27. 1回戦突破

◆ 2回戦 4.2. 球運 県尼に微笑まず

SCORE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
尼崎稲園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
県立尼崎	1	0	0	0	0	1	0	0	×	2

県立伊丹 7 - 0 県立尼崎

### 県尼 春季高校野球 阪神地区大会

#### ◆ 1回戦 3.27. 1回戦突破

さて兵庫県の春季大会が今日開幕、  
県尼は尼崎稲園高校と対戦し、2対1で初戦突破。  
昨年秋季大会前に右小指骨折したエース山口と鎌田（捕手→投手）の投手リレーでの辛勝でした。  
次戦は4月2日に県立伊丹高校と対戦します。（鳴尾浜球場、10時開始）  
結果はまた連絡しますよ。

#### ◆ 2回戦 4.2. 球運 県尼に微笑まず

OBの応援は今日は本家君と二人、先方（伊丹）は10人程度、0対7の大敗の要因の一つはOBの応援負けかも・・・  
多くの選手が故障していて、残念。  
主将とエースには早く故障を治して頑張るように叱咤激励。捲土重来を期待。

## 2. 5月7日 県尼 野球部の近況 - 春の地区大会敗退後 夏の大会へ向けて -

今日県尼野球部父兄会主催の新入部生の歓迎会と県立三田祥雲館高校（春は県大会進出）との練習試合があったので母校の体育館・グラウンドを訪問。 新入部員（選手のみ）は当初予想（7名前）を超え13名。  
総数は38名（3年=18名、2年=7名、1年=13名）と近年には無い大所帯となった。

試合は15対0で大勝、鎌田（3年・正捕手）が先発し同姓の鎌田（2年）とのバッテリーで7回を零封、8回・9回は2年生の松原が締め切った。

打線は好調、1番（昇）～6番（高野）までは以前より格段に成長した印象を持ち、期待出来そうである。

捕手の鎌田（7番）もキャッチング、スローイングとも良くなっていた。

試合後下位打線の鎌田・川下・桑原の3選手は指導した。課題と思っていた投手陣だが、2年生の松原（右）と1年生の西村（左）を藤岡先輩と一緒に指導したが素質もあり楽しみな投手である。今日先発した鎌田と故障していた3年生の主力投手の山口・三浦が復調してくれば戦えるチーム、勝てるチームに変貌しそうである。

今春（3月）の大会では地区予選の2回戦で敗退、情けない思いをしながら帰ったが、今日は気分良く帰ることが出来た。中西さん懲りずに応援してやって下さい。本家さんまた一緒に指導しに行きましょう。

### ▲ スタンドから

県尼の野球部 どうなるかと思っておりましたが、元気に夏へ向けて始動しているとのことうれしいですね。

どんだけ 成長するのか 楽しみです。夏の大会 また 一緒にさせてください

追伸 インターネットで 県尼野球を伝えるページを見つけました。

春の地区大会 1回戦 県尼 2-1 稲園 観戦記 [かつては県立が強かった \(県立尼崎\)](#)

LaBOLA TOP <http://labola.jp/diary/3263375002>

大阪の方のようですが、高校野球にはこんなファンもいらっしゃるのだと。

2016.5.15. 神戸 中西

# LaBOLA

## かつては県立が強かった (県立尼崎): 2016/03/31

2016高校野球春季兵庫大会 阪神地区大会 県尼一稲園戦 観戦記

Mr. Blackさんのブログ 「LaBOLA」 URL: <http://labola.jp/diary/3263375002> より転載



SCORE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
尼崎稲園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
県立尼崎	1	0	0	0	0	1	0	0	X	2



愛知県で高校野球春季大会を観戦して今期のスタートを切りましたが、続いて今度は近場の兵庫県に行きました。

訪れたのは大阪から最も近い兵庫県の大会会場、尼崎球場です。現在はネーミングライツで「ペイコム野球場」という名称になっています。兵庫県は非常に大きな県。なので春と秋の大会はまず地区予選から始まります。

ここ尼崎球場では「阪神地区・Bブロック」のトーナメント大会が行われていました。

観戦したのは「県立尼崎ー尼崎稲園戦」。

1塁側： 県立尼崎高校。

現在はごく普通の公立野球部ですが、昭和20年代~30年代は兵庫県でも屈指の強豪校でした。春4回、夏1回甲子園に出ており、センバツで2度ベスト4があります。薄いアイボリーユニに濃紺基調。胸には筆記体で「Amagasaki」。帽子は白と濃紺のツートン。

ちゃんと統計をとっているわけではありませんが、兵庫県はこういうツートンの帽子が多いように感じています。代表格は報徳や東洋大姫路ですが、兵庫大会を観戦すると割合よく見かけます。今回のセンバツに出ていた長田高校もツートン帽子でしたね。

3塁側： 尼崎稲園 (いなその) 高校。同じく県立校。

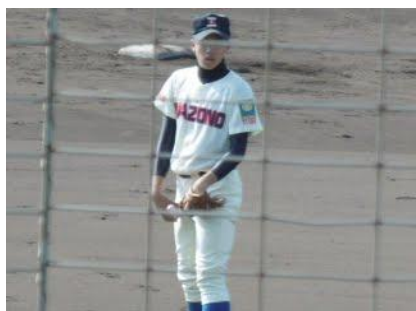
こちらは濃いめのアイボリーユニに濃紺基調。ストッキングはブルー。

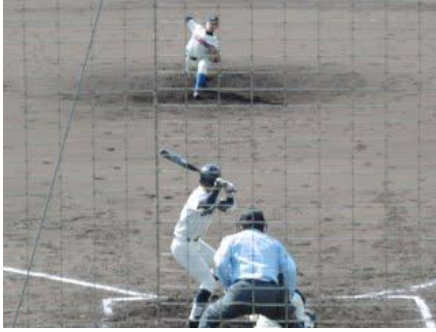
胸には「INAZONO」。

今はごく普通レベルの野球部のようなのですが、ずっと以前強かった時期があったと記憶しています。私の若い頃(苦笑)だったと思うのですが、県大会の上位に勝ち上がって来ることが何度かあったはず。

試合は1回裏に県尼がタイムリーヒットで1点先制。

すると2回表にすぐ稲園がスクイズで同点に追いつくという接戦になりました。両校の実力伯仲という感じの展開。





同時期に甲子園で行われているセンバツでは全国レベルの試合が見られ、それらに比べると失礼かもしれませんがごく普通レベルの試合です。でも個人的には「いかにも普通の高校生が一生懸命やっている部活」というこの感じが好きなのです。

価値観はそれぞれ別個でいいでしょう。

いつも言っていることですが、「甲子園は素晴らしい。でも甲子園だけが高校野球の全てではない」のですから。

試合は6回裏に1点勝ち越した県尼がそのまま守り切って2-1で勝利。2回戦に進みました。（各地区内で更に細かくブロック分けされており、1ブロックごとに2校が県大会に進めます。）

県尼の投手は球威はそれほどなかったものの、変化球が際どいところによく決まっており、巧く打たせて取っていました。

バックも好守で投手を盛り立てていました。少ないチャンスをものにしてあとは守り切るという高校野球の基本みたいな勝ち方です。



かつてはどこの都道府県も公立が強かった時代がありました。

でも今は強化した私学が圧倒的に優位に立っており、公立校が甲子園に出る機会はどんどん少なくなってきました。

そんな状況の中、公立校の奮闘ぶりを少しでも多く生で見たい。そう思って甲子園に背を向けて地方大会に行く物好きな人間が居てもいいでしょう。

甲子園に行けても行けなくても球児達やマネ達にとって高校野球が一生の素晴らしい思い出になればそれが一番だと思っています。



- **Tさん**： 尼崎地域は、野球どころですね。神戸に4年、尼崎に5年、兵庫県民歴9年なので、兵庫県の高校野球も詳しいです。市尼崎も強かったです。隣で甲子園やってるところで、尼崎”ダービー”観戦、さすがです！年季入ってはります。
- **Mさん**： 先日帰省した時に、渋帯で尼崎で高速を降りてちょうど球場の側を通過していきました。その時に高校野球をやっていたのでニアミスしていたのかもしれませんが。帽子のツートーン配色、言われてみれば兵庫県は多いですね。以前大学のチームメイトに理由を聞いてみたら、「白1色だと汚れが目立つから手で触る機会が多いので紺や黒だと汚れが目立たなくなる」らしいから、とのことです。真偽は不明ですが、なるほどと思いました。